



学校だより

(5月号) 令和3年4月30日発行

<http://shibiraki-e.saitama-city.ed.jp/>

【学校の教育目標】

- ◎ 夢(ゆめ)にむかって ともに学びあう学校
 - ・すすんで勉強する子
 - ・自分からあいさつのできる子
 - ・仲よくたすけあう子
 - ・じょうぶな子

《今月の生活目標》 時間を守ろう

おりこうさん

校長 白石 徳一郎

新緑の候 正門のハナミズキは優しいピンクと白の花が咲き、柔らかい緑で包まれています。新学期が始まって1カ月が経ちますが、お子様の様子はいかがでしょうか？

私は子どもたちの様子を見ていて、明るく素直でとてもいい子どもたちだと思います。例えば、登校してくる子どもたちにあいさつをすると、笑顔であいさつをする子、あいさつをする時に頭をさげる子、おじぎをするときに体の前で手を重ねる子など、品のあるあいさつのできる子が何人もいます。自然にできる子が何人もいることは素晴らしいと思います。

下校する児童に「おりこうさんだね。」と声をかけると、「おりこうさんだよ。」とニコニコしながら肯定する子がいました。「いい子だね。」というと「うん。」と答える子がいました。これは、自己肯定感が高いと思われるのでとてもいいことです。きっとご家庭でも「おりこうさんだね。」「いい子だね。」と声をかけてもらっているのでしょう。

そこで、子どもたちのよさをさらに伸ばすために、一つお願いがあります。

今、入学や進級をして、少しお兄さんお姉さんになった子どもたちですが、「1年生になったのだから、〇〇は自分でやりなさい。」とか「〇年生になったから、もう自分でできるよね。」と、学年の変わり目をいい機会として少しハードルを上げるご家庭があるかもしれません。しかし、幼稚園の年長の時にはできていたことが、1年生になるとできなくなったり、3学期にはもっともってできていたのに、学年が変わると手がかかるようになっていたりすることがあります。これは、慣れている環境だと子どもは力を発揮できるのですが、環境が変わると戸惑って、できていたこともできなくなっていると考えられます。そこで、学期初めの今は、ハードルを上げるよりも、温かく見守って子どもが早く新しい環境に慣れるように支えていただけたらと思います。

少しオーバーですが、「ほめて、おだてて、感謝する」といいと思います。「お母さんは、〇〇がおりこうさんで嬉しいよ。」とお子様を素直に育てていることに感謝すると、お子様はきっといい子に育つでしょう。当たり前のことを当たり前だと思わずに感謝すると、好循環につながっていくように思います。

さいたま市がまん延防止等重点措置の対象地域となりました。関西では感染力が増した変異株が主流となっているとの報道もありました。学校生活の中でも感染防止対策を講じてまいりますが、状況に応じて、教育活動を変更する場合がございます。ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

末筆になりますが、保護者様、地域の皆様もどうぞご自愛いただき、皆様が健康に過ごされますよう、お祈り申し上げます。